

北海道立近代美術館



1 令和6年度事業実施報告及び美術館評価

(近代美術館)

展覧会の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
近美コレクション 展示室A	3月23日(土)～6月16日(日) [62日間] [1階] 越境者バスキ [2階] 現代ガラスのオノマトペ 片岡球子「面構」シリーズ 【この1点を見てほしい。】 山口蓬春《向日葵》(～5/12) 新収蔵品展(5/18～6/16)			7月9日(火)～9月26日(木)[60日間] [1階] 浮世絵のヒロインたち 岩橋英遠《道産子追憶之巻》 [2階] ウィズ・キッズ24 なぜこのかたちなの？ アートギャラリー北海道 港の今昔 苫小牧市美術館コレクションから			10月12日(土)～12月8日(日)[51日間] 【1階】 ウィズ・キッズ'24 みる・ふれる・つたえる さいきょうのざいりょう 【2階】 温かいガラスへ 岩田藤七の奇跡 この1点を見てほしい。 荻須高德《炭屋》			1月5日(日) ～3月16日(日)[61日間] [道単特別展] [展示室A 1階、展示室B] 星の瞬間 アーティストとミュージアム が読み直す、Hokkaido 近美コレクション [展示室A 2階] 変貌する20世紀ヨーロッパ・ガラス プロダクトへ、アートへ			3月29日(土)～ [1階] ウィズキッズ'25 リーヴ ル・ダルティ スト [2階] 巴里のかほり アール・デ コのガラス 曾木美歌 新収蔵品展	
	4月20日(土) ～6月2日(日) [38日間] [貸館] STV 「琳派×アニメ」展			7月9日(火)～9月1日(日)[48日間] [実行委員会] 道新 京都 高山寺展 明恵上人と 文化財の伝承			9月21日(火) ～10月27日(日) [32日間] [実行委員会] Tvh 皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品			12月5日(木)～15日(日) [10日間] [貸館] 北海道書道連盟創立70周年記念展				
特別展 展示室B														

【展覧会の実施状況】

〈近美コレクション（常設展）〉

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期	越境者パスキン／現代ガラスのオノマトペ／片岡球子「面構」シリーズ／この1点を見てほしい。／新収蔵品展	令和6年 3月23日（土）～ 6月16日（日）	62	7, 752	125
第Ⅱ期	浮世絵のヒロインたち／岩橋英遠《道産子追憶之巻》／ウィズ・キッズ '24 なぜこのかたちなの？／AGH 港の今昔 苫小牧市美術館コレクションから	令和6年 7月 9日（火）～ 9月26日（木）	60	24, 815	413
第Ⅲ期	ウィズ・キッズ '24 さいきょうのざいりょう／岩田藤七の軌跡／この1点を見てほしい。	令和6年10月12日（土）～12月 8日（日）	51	6, 725	131
第Ⅳ期	リーヴル・ダルティストー芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール	令和7年 3月29日（土）～ 7月 6日（日）	2	446	223
計			175	39, 738	227

R5	R4
169	201

〈特別展〉

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
「琳派×アニメ展」（貸館）		令和6年 4月20日（土）～ 6月 2日（日）	38	20, 781	546
京都 高山寺展－明恵上人と文化財の伝承（実行委員会）		令和6年 7月 9日（火）～ 9月 1日（日）	48	82, 981	1, 728
皇居三の丸尚蔵館展（実行委員会）		令和6年 9月21日（土）～10月27日（日）	32	36, 872	1, 152
北海道書道連盟創立70周年記念展（貸館）		令和6年12月 5日（木）～12月15日（日）	10	2, 598	259
星の瞬間 アーティストとミュージアムが読み直す、Hokkaido（道単）		令和7年 1月 5日（日）～ 3月16日（日）	61	8, 896	145
計			189	152, 128	804

R5	R4
510	1, 301

○コレクションの活用状況

- ・近美コレクションを3回、当館所蔵品含む特別展を3回（「高山寺展」「皇居三の丸尚蔵館展」「星の瞬間」）を開催し、539点を展示した。

○コレクションの充実度

- ・購入 美術品取得基金を活用、ガラス作家福西毅3点。
- ・寄贈 青木美歌のガラス3点、後藤和子の水彩3点、深井克美2点、石井亨2点、計10点。これにより令和6年度末の作品総数は6,082点となった。

○保管状況の適切さ

- ・令和6年度までの新収蔵作品を含めデータの登録が完了した。
- ・収蔵庫をはじめ館内の害虫調査及び対策を実施した。
- ・彫刻2点、ガラス作品1点を修復した。



新収蔵品
青木美歌《未生命の遊槽》（部分）2010年

【成果】コレクションの活用、主体的な収集活動を行った。IPM（総合的有害生物管理）に基づく取組を継続し、通年で捕虫・監視を行い、定期的に収蔵庫等を月1回清掃し、適切な保管環境の保持を実現した。

【課題】作品修復に関しては、経年劣化を踏まえて継続的に適切な修復を実施していく必要がある。

○常設展示の充実度

- ・「越境者パスキン」、「浮世絵のヒロインたち」など国内外の美術を紹介、また令和6年度からリニューアル後の目指す姿を踏まえて子どもが大人を連れて何度も来館したくなる美術館を目指し「ウィズ・キッズ」展を2回企画開催した他、アートギャラリー北海道として苫小牧市美術博物館の所蔵品を展示。年間観覧者数は39,738人。

○特別展示の充実度

- ・「高山寺展」「皇居三の丸尚蔵館展」などの大規模展のほか、
「星の瞬間」展では所蔵品と道内の現代作家の作品を展示。年間観覧者数は152,128人。

○入館者増につながる取組の実施

- ・常設展や特別展に関連し、ワークショップや作品解説などを実施した。
- ・HPやSNSの活用、動画制作によって、細やかな情報提供と多様な魅力の発信を行った。

【成果】常設展示では、日本、ヨーロッパ、ガラス工芸など幅広い美術を紹介。教育普及展覧会「ウィズ・キッズ」を実施。

特別展示では、高山寺の名品展や皇族と北海道をつなぐ優品を紹介。当館学芸員が札幌市内の現代作家と連携して企画した「星の瞬間」展など多彩な作品を紹介し幅広い層に当館の利用を促すことができた。

【課題】多くの来館者があった展覧会では、混雑状況に関する情報提供に不満の声があった。今後より一層ウェブを活用した情報提供に努める。

○教育普及活動の充実度

- ・スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を通じて当館、知事公館、三岸好太郎美術館の新たな8点について映像、音声、文章による作品解説を公開、計17点とした。札幌北陵高校と連携し、音声を同校生徒の協力により収録した。
- ・展覧会ごとの学芸員による解説（ミュージアム・トーク、講座、見どころ解説、ギャラリー・ツアー等）を実施するとともに、外部講師による講演会等を開催するほか、作品理解に結びつく様々な事業を実施した。

○美術情報提供の充実度

- ・SNSでの積極的な美術情報提供につとめ、週2~3回の割合で投稿した。
- ・「北海道リモート・ミュージアム」の動画を新たに2本制作、公開した。
- ・所蔵品のデータを整備し、データベース上で公開する情報の質を向上させた。

【成果】講演会をはじめ、学芸員による解説や外部講師によるワークショップ等、様々な教育普及事業を実施した。SNSへの注力により、展覧会に関する情報発信を充実させた。

【課題】HP・SNSを中心とした情報発信に転換する一方で、紙媒体主体で情報収集を行っている層への配慮（アクセス方法の問合せに対する丁寧な説明、ウェブの利用が困難な方への情報提供等）も十分に行う必要がある。

○調査研究の充実度

- ・研究紀要はパスキンに関する論考など計2件を掲載して刊行。
- ・「高山寺展」「皇居 三の丸尚蔵館展」「星の瞬間」展図録を刊行。執筆・編集を担当学芸員が行った。

【成果】コレクションの各分野や展覧会等に関する調査研究及び各学芸員の研究課題や関連分野の調査研究を継続的に進めている。

【課題】オンライン研修のみならず、遠方で実施される学芸員の実地研修への参加機会の充実を図ることが必要。

○学校との連携の状況

- ・オンライン・アート教室を8校10件（小学校2校、中学校1校、特別支援学校5校）計164名を対象に実施した。

オンラインアート教室で
説明する学芸員



○地域の関係機関との連携状況

- ・札幌市内のCAI研究所及び道内現代美術作家と連携した「星の瞬間」展を開催した。
- ・北海道美術館協力会と連携・協力し、ボランティアによる展示解説等を実施した。

【成果】オンライン・アート教室では、学校現場のニーズを細やかに把握することで、各校の事情に適合した授業を展開し、好評を得た。

【課題】オンラインは対面式に比べて双方向コミュニケーションに配慮する必要があるため、学校の特性や人数、学校の要望を聞きながら実施していく。

○施設の適切な維持管理

- ・ 職員の日常的な点検や道教委技術職員との点検、業者による保守点検結果の把握により、施設設備の不具合や故障の早期発見・早期対応に努めるとともに、来館者アンケートで寄せられた御意見等を踏まえ館内外の環境改善を図った。

○施設の快適性の向上

- ・ 来館者アンケートの回収率向上に向けて、アンケート回収箱の設置数を増やすなど設置箇所の工夫に取り組むほか、QRコードによるWeb回答受付にも継続して取り組み、寄せられた御意見等を職員で共有し必要な対応を行った。
- ・ カフェスペース新規出店者と協働し、展覧会と連動した割引サービスや限定メニューの提供などを行った。



<カフェ割引サービス>

【成果】施設の安全確保に向け、点検等により故障箇所等の早期発見に努め、必要な修繕を行うことで、概ね適切な維持管理が図られた。カフェスペース新規出店者と協働した取組を行い、来館者がより利用しやすい環境を整えることで、満足度の向上が図られた。

【課題】施設設備の老朽化が進んでいることから、引き続き点検の充実等により、不具合や故障の早期発見・早期対応につなげていく必要がある。また、来館者の満足度向上に向けカフェ事業者等と連携・協働した取組を実施し、周知を積極的に行う必要がある。

2 令和 7 年度運営計画

(近代美術館)

① 令和 7 年度 道立近代美術館事業費予算

単位：千円

歳入予算					歳出予算				
区分	令和 6 年度 予算額 (a)	令和 7 年度 予算額 (b)	比 較 (b-a)	摘 要	区分	令和 6 年度 予算額 (a)	令和 7 年度 予算額 (b)	比 較 (b-a)	摘 要
常設展観覧料収入	6,968	6,968	0		常設展事業費	15,471	15,995	524	常設展（近美コレクション）にかかる経費
特別展（道単）観覧料収入	7,891	7,891	0		特別展（道単）事業費	10,232	10,802	570	道単独開催の特別展にかかる経費
実行委員会展収入	0	0	0	（大規模県の例） 共催展収入20,000	特別展（実行委員会）負担金	4,000	2,000	▲ 2,000	実行委員会主催の特別展にかかる経費
実行委員会展展示室料	0	0	0		教育普及・調査研究資料収集費	821	821	0	美術講演会、普及活動のほか資料調査収集等を行う経費
貸館料収入	6,711	11,759	5,048	展示室、講堂等利用	親子ふれあい芸術体験事業	205	205	0	親子で美術館を楽しむワークショップなどを行う経費
芸術文化振興基金等収入	3,000	3,000	0		移動美術館	0	0	0	令和 5 年度から事業休止
キャンパスパートナーシップ	70	0	▲ 70		収蔵作品特別緊急修復事業	161	5,343	5,182	作品修復を行う経費
一般財源	6,288	6,586	298		その他	38	1,038	1,000	
計	30,928	36,204	5,276			30,928	36,204	5,276	

② 令和7年度の主な取組

A 優れた作品の収集と適切な保管

- 美術品取得基金の活用
- 野外彫刻の定期的メンテナンスと修復。
- 作品の額のガラスを、低反射タイプに順次更新（継続）

B 多彩で特色ある展示活動の充実

※ 展覧会の内容については別途説明

C 学習の場と情報提供の充実

- 北海道リモートミュージアム（学芸員による展覧会解説動画）の制作と配信（youtube）
- 「ウィズ・キッズ'25」に関連し、子どもを対象としたギャラリートツアーを実施
- スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を活用した音声ガイドの充実
- 展覧会に関連した外部講師による講演会等の実施
- HP及びSNSを通じて、展覧会や関連事業の情報を積極的に発信

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究及び成果の地域社会への還元
- コレクションに関わるアーカイブ構築
- 最新の展示環境に関する情報の収集及び展示のノウハウの研究
- リニューアルに関する美術館設備や展示什器、および導入事例等の調査研究

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高・特別支援学校等と美術館を結ぶ「オンラインアート教室」の実施
- 学校教育との連携・協力（指導者研修、博物館実習、自主研修、職場体験学習など）
- 「アートギャラリー北海道」事業として洞爺湖芸術館所蔵品展の実施や連携館との広報協力

F 安全で快適な滞在環境の提供

- 施設設備の計画的な点検の実施、不具合や故障の早期発見、必要な補修の迅速化
- カフェ事業者等との連携・協働した取組や情報発信の検討・実施
- 来館者アンケートに対する対応の充実

【展覧会の実施状況】

〈近美コレクション（常設展）〉

（令和7年7月6日現在）

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期	ウィズ・キッズ ‘25 めでたいな！幸せねがう日本の絵／リーヴル・ダルティストー芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール／巴里のかほり アール・デコのガラス／青木美歌《未生命の遊槽》／新収蔵品展	令和7年 3月29日（土）～ 7月 6日（日）	78	13, 871	177
第Ⅱ期	ウィズ・キッズ’ 25 赤・青・白 杉山留美子さんの部屋／1945-2025 美術は何を記憶しているか／透明なガラススウェーデンのリリシズム／青木美歌《未生命の遊槽》／AGH 手のひらの宇宙－洞爺湖芸術館コレクション展／【この1点を見てほしい。】本郷新《嵐の中の母子像》	令和7年 7月19日（土）～11月24日（月・祝）	112		
第Ⅲ期	おはなし美術／カラー・オブ・グラス／青木美歌《未生命の遊槽》／【この1点を見てほしい。】池田良二《アントニ・タピエス氏に捧げるVaranasi》	令和7年12月13日（土）～令和8年4月12日（日）	95		
計			285		

〈特別展〉

（令和7年6月15日現在）

展覧会名		開催期間	日数	実施状況	
				観覧者数	一日当たり観覧者数
浮世絵スーパークリエイター 歌川国芳展（貸館）		令和7年 4月25日（金）～ 6月15日（日）	45	37, 512	833
金閣・銀閣 相国寺展 若冲、応挙、芦雪－禅文化の名宝と美（実行委員会）		令和7年 7月19日（土）～ 9月 7日（日）	44		
トーベとムーミン展 ～とっておきのものを探しに～（貸館）		令和7年10月 1日（水）～11月24日（月・祝）	48		
イワタルリ展（道単）		令和7年12月13日（土）～令和8年2月15日（日）	51		
計			188		

北海道立近代美術館
令和 7 年度(2025年度)
展 覧 会 概 要

エルミート・ダヴィッド「マルタの手記」原稿、1942年 当館蔵
©Herminie David/BONCO, Oslo & JASPAR, Tokyo, 2025, E5900

展示室A 1階
ウズベキズ '25 めでたいな！ 幸せねがう日本の絵
展示室A 2階
巴里のかほり アール・デコのガラス／青木美歌(未生命の道徳)／新収蔵品展

芸術になった本
ルオー、ダヴィッド、マチス、シャガール

LIVRE D'ARTISTE

リーヴル・ダルティスト

2025.
3.29 SAT - 7.6 SUN

観覧料 | 一般 510(420)円、高大生 250(170)円
* ()内は10歳以上の団体料金。* 無料になる方: 65歳以上、中学生以下、身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(クラウドID利用可)及びその介護者(1名)など、受付で手帳等をご提示ください。* 高校生は毎週土曜日及び7/1～7/6、学校の教育活動で利用する場合が無料。* 本館金で「ウズベキズ '25 めでたいな！ 幸せねがう日本の絵」, 「巴里のかほり アール・デコのガラス」, 「青木美歌(未生命の道徳)」, 「新収蔵品展」を合わせてご覧いただけます。* 三好純太郎美術館との共進券(一般 830(670)円、高大生 410(270)円)

主催 | 北海道立近代美術館 後援 | 札幌市、札幌市教育委員会
北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art
〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 TEL. 011-644-6882
https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb
✕ @dokinbi 📘 https://facebook.com/dokinbi

展示室A 1階

近美コレクション
The Museum Collection

LIVRE D'ARTISTE

リーヴル・ダルティスト — 芸術になった本

ルオー、ダヴィッド、マチス、シャガール

本好きのあなたへ

20世紀前半のパリで活躍した画家ルオー、ダヴィッド、マチス、シャガール。彼(彼女)らは油彩画のみならず、詩や小説など文学作品の挿絵を多く描いています。画商ヴォラールが発案した、芸術家のオリジナル版画を付けた限定本は「リーヴル・ダルティスト」(Livre d'artiste)と呼ばれ、美術愛好家や愛書家たちに好んで収集されました。また万国博覧会でも一部門が設けられるなど、「本」はこの時代、芸術家たちの新たな表現手段として広く普及します。

文学者や出版者、また版画工房とのネットワークの中で、画家たちは互いに影響し合いながら、テキスト(言葉)とイメージ(絵)の関係を熟慮し、自身の芸術表現を探究していきます。本展では当館コレクションから、1920～70年代に制作された「芸術家の本」とそのオリジナル版画など150余点をご紹介します。

マルク・シャガール「ニムフたちの洞窟での婚礼の祝宴」『ダニスとクロエ』より、1957-60年(1961年刊行)
©ADAGE, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025, E5900

ジョルジュ・ルオー「魚」『ニビムおやじの転生』より
1928年(1932年刊行)
©ADAGE, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025, E5900

アンリ・マチス「アボリネール」表紙、1952年刊行
* 掲載作品はいずれも当館蔵

ウィズ・キッズ'25 めでたいな！幸せねがう日本の絵



竹内栖鳳 《家兎》 1939年

巴里のかほり アール・デコのガラス



ルネ・ラリック
《花器・バッカスの巫女》 1927年

新収蔵品展



深井克美 《オリオン》 1977年



近美コレクション The Museum Collection

1945-2025

What Kind of Memories Does Art Contain?

美術は何を記憶しているか



展示室 A
1階

ウィズ・キッズ '25
赤・青・白
杉山留美子さんの部屋

展示室 A 2階

透明なガラス
— スウェーデンのリンズム
アートギャラリー北海道
— 手のひらの宇宙
— 洞窟湖美術館コレクション展
青木美歌(未生命の遊槽)

前庭・ロビー (2階)

本郷新
《風の中の母子像》
この1点を見てほしい。

2025年、第二次世界大戦の終結から80年を迎えます。この80年間で、北海道を含む日本の社会は大きく変化し、その過程で様々な美術作品が生み出されてきました。作家の生きた時代の世相を反映したもの、長年心に残り続けていた情景が昇華されてかたちになったものなど、美術は時代ごとの思潮や事象をいわば記憶として宿しています。

本展では、社会と関わりながら制作された美術作品の背後に存在する記憶を、現代に生きる我々の眼を通して紐解きます。絵画や彫刻、写真など多様な作品により社会と美術、そして過去と現在のつながりを様々な角度から検証するとともに、我々の現在地を見つめ直す契機とします。

近美コレクション The Museum Collection

1945-2025

What Kind of Memories Does Art Contain?

美術は何を記憶しているか

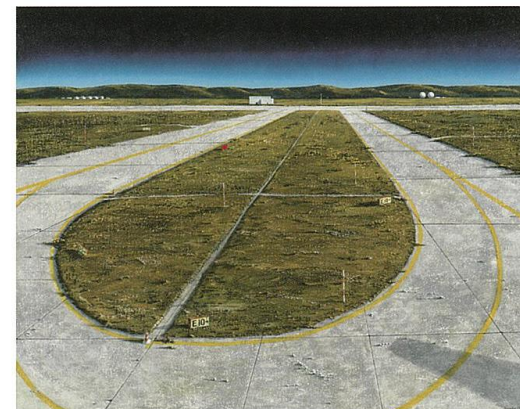
展示室 A
1階



難波田龍起《秋の詩》1961年



小谷博真《八月の原野》1993年



伊藤光悦《Airport》1999年

2025 7.19 [土] - 11.24 [月・祝]

開館時間 9:30 - 17:00 7/25(金) 9:30 - 21:00(カルチャーナイト)、
8/22、29、9/5(いずれも金) 9:30 - 19:30(夜間開館) ※入場は各閉館時間の30分前まで

休館日：月曜日(7/21、8/11、9/15、10/13、11/3、11/24を除く)、
7/22、8/12、9/16(いずれも火)、9/24(水) - 9/30(火)、10/14(火)

観覧料：一般510(420)円、高大生250(170)円 (※1点を見てほしい。1日のみ観覧無料) ※()内は50名以上の団体料金

無料に
なる方
・65歳以上、中学生以下、身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(マイID利用可)及びその介護者(1名)、
児童福祉施設、老人福祉施設に入所されている方とその引継者、生活保護を受けている方、交付で手帳等をご提示ください。
・高校生等が平日と土日、7/1 - 8/31の期間で高校生教育修習で利用する場合。
・7/21(当館開館記念日)、7/25(カルチャーナイト)、17:00 - 21:00、11/1 - 11/7(芸術週間)にご来場のすべての方。
※近美コレクションと三好好太郎美術館共催展(7/19 - 8/28のみ)：一般 830(670)円、高大生 410(270)円

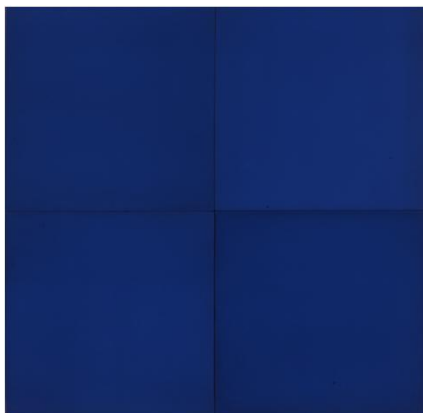
主催：北海道立近代美術館 後援：札幌市、札幌市教育委員会

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目
TEL. 011-644-6882
@dokinbi f@dokinbi



ウィズ・キッズ'24
赤・青・白
杉山留美子さんの部屋



杉山留美子

《From All Thoughts Everywhere -B-From All thoughts》2000年



透明なガラス
スウェーデンのリリシズム

シーモン・ガーテ

《馬に人物文コンポート》
デザイン1920年、制作1925年



アートギャラリー北海道
手のひらの宇宙
洞爺湖芸術館コレクション展

キフ・バネッテ

《旅人たちの世界》2005年

この1点を見てほしい。
本郷新 《嵐の中の母子像》



本郷新 《嵐の中の母子像》
1953年

おはなし美術



中谷有逸 《碑・古事記（オキナガラシヒメとその御子）》
2014年

カラー・オブ・グラス



岩田久利 《花器》 1991年

この1点を見てほしい。

池田良二 《アントニ・タピエス氏に捧げるVaranasi》



歌川国芳展 クリエイター スーパー 浮世絵

2025 4.25^[金] 6.15^[日]

Ukiyo-e

UTAGAWA

国芳展

豪放磊落 奇想天外

KUNIYOSHI

「宮本武蔵と巨鯨」(部分) 弘化4(1847)年頃 個人蔵

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art
〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 Tel 011-644-6881 <https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb>



若冲・応挙・
芦雪
— 禅文化の
名宝と美 —



2025.
7.19^土—9.7^日

会期中、一部展示替えをします。

前期：7月19日(土)～8月11日(祝・月)

後期：8月13日(水)～9月7日(日)

【休館日】月曜日(7月21日、8月11日を除く)。
7月22日(火)、8月12日(火)

【開館時間】9:30～17:00

7月25日(金)カルチャーナイトは9:30～21:00

8月22日(金)、29日(金)、9月5日(金)は
夜間開館で9:30～19:30(入場は各開館時間の30分前まで)

主催：北海道立近代美術館、大木山相国寺、
日本経済新聞社、テレビ北海道、北海道新聞社
共催：相国寺承天閣美術館 特別協力：龍苑寺、慈照寺
協賛：伊藤組グループ、伊藤忠商事株式会社、
平和不動産株式会社、よつ葉乳業株式会社
後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART



展覧会公式ホームページ

<https://www.tv-hokkaido.co.jp/special/shokoku-ji/>

左上から時計回りに：金閣寺、大徳院(部分) 佐吉山明光筆 室町時代 龍苑寺蔵、中観音図 龍苑寺蔵(部分) 狩野内膳・狩野内膳・狩野内膳 江戸時代 相国寺蔵、竹田百合図(部分) 伊藤忠商事蔵、江戶時代 龍苑寺蔵、国宝(民蔵複製文書目録所載) 吉澤堂 中国・南宋時代 相国寺蔵、(牡丹百合図)(部分) 伊藤忠商事蔵 江戸時代 慈照寺蔵



金閣・銀閣
相国寺展

しょうこくじ

Zen Heritage:
Shokoku-ji,
Kinkaku-ji, and
Ginkaku-ji,
Kyoto



若冲・応挙・芦雪—禅文化の名宝と美

Zen Heritage: Shokoku-ji,
Kinkaku-ji, and
Ginkaku-ji, Kyoto



金閣・銀閣
相国寺展



【観覧料】

一般1,800(1,600)円、高大生1,000(800)円、

中学生700(500)円

- * 小学生以下無料(要保護者同伴)。
- * ()内は前売券および10名以上の団体、リピーター割引、アートギャラリー北海道相互割引料金。
- * ()内は前売券および10名以上の団体、リピーター割引、アートギャラリー北海道相互割引料金。
- * リピーター割引料金は道立美術館・芸術館で開催された特別展の半券をご提示いただいた場合の料金(有効期限は半券に記載)。
- * アートギャラリー北海道相互割引は、当館で相互割引実施館の半券をご提示いただいた場合の料金。
- * 上記2つの割引については1枚につき、お一人様1回限り有効。
- * 北海道文化財保護協会割引は、通常料金から一般100円引き、高大生以下50円引き。
- * 身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(マイロID利用可)及びその介護者1名あたりは無料。受付で手帳等をご提示ください。
- * 近畿コレクションとの共通券は、一般2,100円、高大生1,050円(当日券のみ有効)。

上から時計回りに：《自象寺子園屏風》(部分) 長沢西宮筆 江戸時代 龍苑寺蔵、《中観左右梅図》(部分) 伊藤忠商事蔵 江戸時代 龍苑寺蔵、重要文化財《赤茶茶碗 加賀》 本阿弥光悦 桃山～江戸時代 相国寺蔵

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF
MODERN ART

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目

TEL: 011-644-6882

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/kenb>

☎ @dokinbi @dokinbi

【前売券販売所(7月18日まで)】

北海道立近代美術館(7月6日まで)、道新プレイガイド、ローソン
チケット(Lコード:12307)、セブンチケット(セブンコード:109-568)、
チケットぴあ(Pコード:687-197)、札幌市民交流プラザチケットセンター、セイコーマート店
内マルチコピー機(セコマコード:D25071901)、展覧会ホームページオンラインチケット
※7月19日以降は上記にて当日券を販売します。

オンラインチケット
をご購入の場合
左右いずれかの
QRコードを
ご利用ください。



イーティックス・
オンラインチケット



道新プレイガイド

【交通アクセス】

- 地下鉄：東西線・西18丁目駅下車、④車出口から徒歩5分
- JRバス、中央バス/バス停「道立近代美術館」下車、徒歩1分
- 提携駐車場：ビッグシャイン88北1条駐車場(北1条15丁目、当館から徒歩5分)
- 美術館利用者を対象とした割引：駐車場入場から20分無料、以降20分ごと130円。当館内の押印車で駐車場に移動していただい。
- 障害者割引：精算前にビッグシャイン88出口で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示すると、1時間無料(上記2つの割引は併用不可)





HAM
Helsinki Art Museum



HAM
Helsinki Art Museum



TOVE
JANSSON
AND
THE MOOMINS

トーベと ムーミン展

2025
10.1 WED
11.24 MON
振休

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art

—とっておきのものを探しに—



HAM
Helsinki Art Museum



TOVE
JANSSON
AND
THE MOOMINS

トーベと ムーミン展

2025
10.1 WED
11.24 MON
振休

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art
〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 TEL011-644-6881
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb>

開館時間：9:30～17:00(入場は16:30まで)
※10月13日、11月3日、11月24日を除く月曜と10月14日(※)休館
主催：北海道新聞社、HTB北海道テレビ、朝日新聞社
後援：フィンランド大使館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会
企画協力：ヘルシンキ市立美術館
協賛：NISSHA
協力：ライヴ・アンド・プランズ、S2、フィンエアー、

—とっておきのものを探しに—

イワタルリ展 息づくガラス

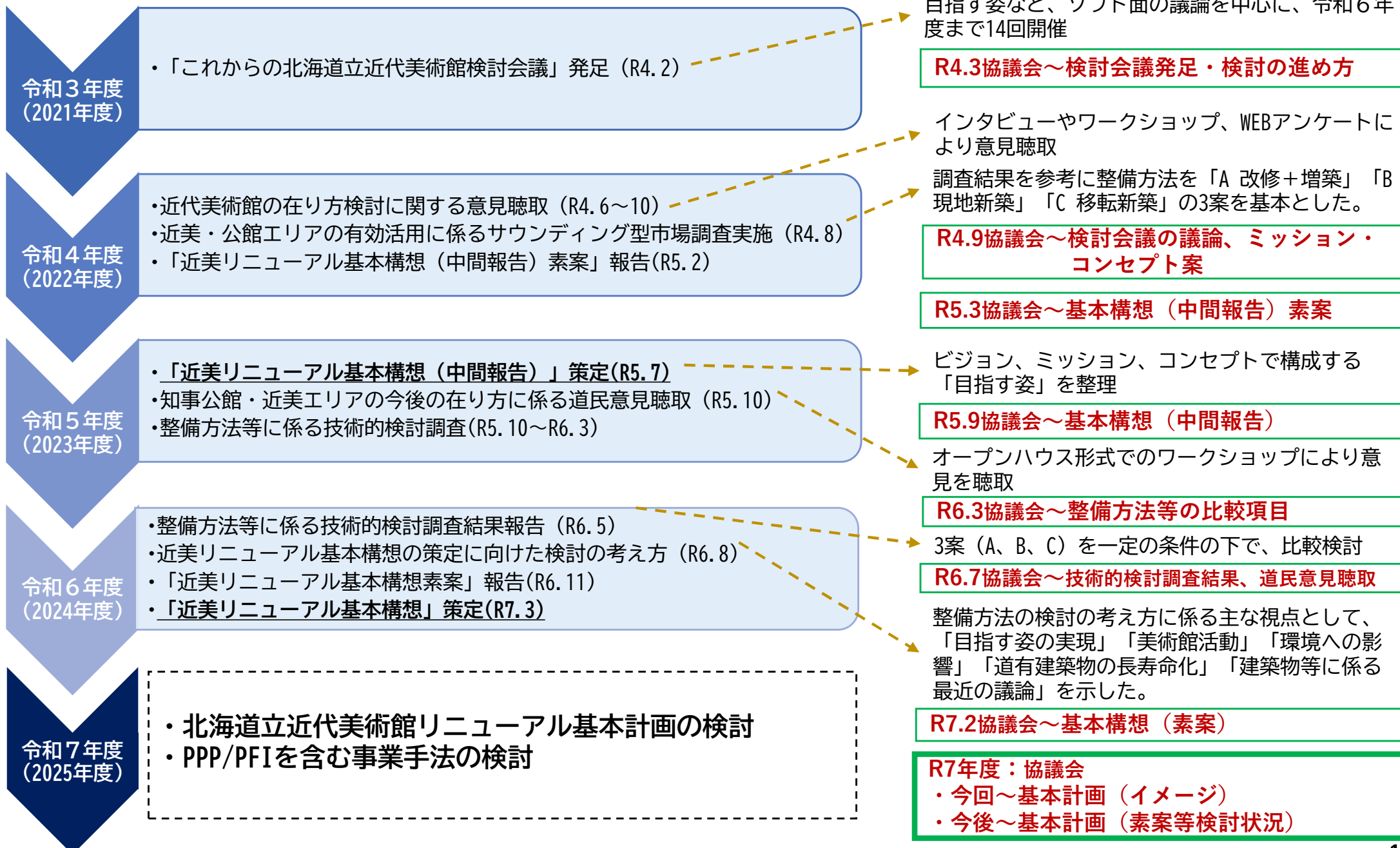


イワタルリ No220402 2022年

イワタルリ No899251 1989年

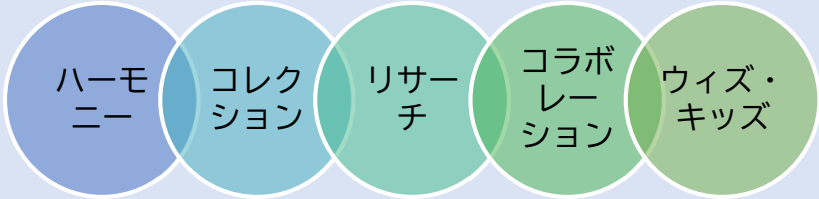


1 これまでの主な取組



2 北海道立近代美術館リニューアル基本構想＜概要＞

近代美術館が目指すこと

ビジョン 私たちが目指すもの	北海道立近代美術館は、アートの普遍的価値の継承・発展と、発信に取り組むことにより、誰もがその豊かさを享受することで、多様な人々が互いを受け入れ、活かし合う、創造性と活力にあふれる社会の実現を目指します。
ミッション 私たちの使命、役割	○ 北海道の美術文化の中核として、道民に信頼され、親しまれるとともに、誰もが楽しみ、学び、やすらぎを感じ、人生の豊かさを見いだすことができる場所となります。 ○ アートを介した新たな発見や感動体験により、人々の生涯を通じて創造力と豊かな感性を育み、刺激し続けます。 ○ 様々な人々や団体と協働し、地域のアートの活性化に貢献するとともに、多様性の尊重や持続可能性が求められるこれからの社会づくりに向け、美術館としての活動を積み重ねながら、道民とともに歩んでいきます。
コンセプト 私たちが取り組んでいくこと	

整備方法の検討に係る考え方

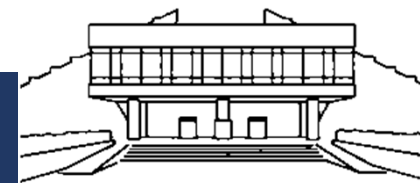
項 目	検 討 内 容
“目指す姿”の実現	「改修＋増築」は一定程度の面積拡大が可能で、“目指す姿”の実現に向けた必要な機能の確保が図られるほか、生態系への影響、解体廃棄物の量、既存ストックの活用観点から、“ミッション”にうたわれている「持続可能性」に最大限貢献できる。
美術館活動の継続性	技術的検討調査結果では、リニューアルの工事に伴う休館期間は、「移転新築」が最も短いとされているが、枯らし期間の大幅な短縮により、「改修＋増築」においても休館期間の短縮が見込める。
環境への影響	技術的検討調査結果では、樹木の伐採本数や廃棄物、CO2の量は、「改修＋増築」が最も少なく、ネイチャーポジティブの考え方に基づく伐採樹木の回復措置も容易で、環境や景観に与える影響が最も少ない。
建築物に関する最近の議論及び現建物の歴史的・文化的価値	「価値のある建築物は長く使い続けることが時代の潮流」、「改修によってバリューアップが可能」といった文化庁の「建築文化に関する検討会議報告書」や建設事業者からの助言のほか、現在の近代美術館の建物は、道民から親しまれるとともに、文化財への登録の可能性が指摘され、建築物として一定の評価を受けている。

現在の建物を活用し、“目指す姿”の実現に向けた必要な諸室や十分な規模を確保するため、諸室の転用や増築等のリノベーションを行い、歴史的価値を有する建築物としても次の世代に適切に引き継ぎ、本道文化の創造・振興の役割を果たしながら、歴史を受け継ぎ、新しい時代とともに本道の美術文化を拓く美術館として生まれ変わります。

3 リニューアル基本計画の策定に向けた進め方

(1) 近代美術館リニューアル基本計画策定業務委託 及び 知事公館・近代美術館エリアの整備・運営等におけるPPP/PFI導入可能性調査業務委託

- 委託業者： PwCアドバイザリー合同会社（東京都千代田区大手町1丁目1番1号）
- （主な実績）・新福岡県立美術館基本計画策定支援業務
・鳥取県立美術館整備基本計画策定支援及びPFI手法導入可能性調査業務
・栃木県「文化と知」創造拠点整備構想策定支援及びPFI等導入可能性調査業務
- 委託期間： 令和7年4月15日～令和8年3月10日



(2) これからの北海道立近代美術館検討会議（R4.2設置）

今年度から構成員を2名追加。5回開催予定（2回開催：5/20, 7/15）

所 属	職	氏 名
株式会社h a k u	代表取締役	菊地 辰徳 氏
北海道大学	名誉教授	北村 清彦 氏
北海道教育大学釧路校	教授	佐々木 幸 氏
北海道大学	名誉教授	佐々木 亨 氏
前札幌芸術の森美術館	館長	佐藤 友哉 氏
株式会社エムバイピー クリエイティブ・ジャパン	代表取締役	大海 恵聖 氏
北海道大学大学院工学研究院	准教授	野村 理恵 氏

(3) 道民意見聴取イベント（イメージ）

目 的

- 子どもや若者等の道民の意見を聴取し、リニューアル検討の参考
○イベントを通して、リニューアルの検討状況を周知し、機運醸成の一助

時 期

- 1回目：令和7年8月～9月上旬※「金閣・銀閣 相国寺展」期間中を想定
2回目：令和7年10～11月 ※「トーベとムーミン展」期間中を想定

手 法

- 参加者公募型のワークショップ形式（グループディスカッション）を予定

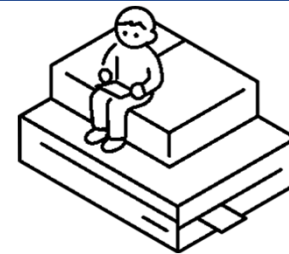
対象者・テーマ

	対象者	テーマ（案）
1回目	中高生を中心 とした 若者層向け	・どんな美術館に行きたい？ ・新しくなった美術館で何をしたい？ ・リニューアル後の美術館の名称
2回目	大学生以上の 一般向け	・近美での思い出 ・リニューアルに期待すること ・リニューアル後の美術館の名称

※参照：「これからの北海道立近代美術館検討会議」（R7.5.20:第15回・R7.7.15:第16回）資料

4 リニューアル基本計画のイメージ

基本計画構成イメージ



第1章

基本計画の策定にあたって

これまでの検討経過と本計画の策定について

第2章

リニューアルの背景

1. 近代美術館の概要
2. 近代美術館の課題
3. 美術館の社会的役割の広がり

第3章

リニューアルの方針

1. 近代美術館がめざすこと
2. 施設整備の基本方針

第4章

リニューアルの 具体的内容

- ・ 必要な機能
- ・ 施設整備の全体イメージ
- ・ 各諸室の目安面積
- ・ 動線イメージ など

第5章

運営の在り方

- ・ 事業手法（PFI等）
- ・ 組織体制
- ・ 財源の確保
- ・ エリア一体の運営 など

第6章

事業計画

- ・ 概算事業費
- ・ 事業スケジュール
- ・ 休館期間中の取組 など



◇リニューアル基本計画：第1章 基本計画の策定にあたって（イメージ）

（開館とこれまでの美術館活動）

- ・ 地域性と国際性を併せ持つ総合的近代美術館の構想のもと、昭和52年（1977年）開館
- ・ 「地域に開かれ、地域の美術文化を拓く」を基本理念に掲げ活動

（道立美術館等の連携や役割）

※ 近代美術館、三岸好太郎美術館、旭川美術館、函館美術館、帯広美術館、釧路芸術館

- ・ 道立美術館等※は、近現代美術を主要な対象として、教育的・美術史的視点に基づく系統的な作品収集、館や地域の特性を生かした相互連携により、本道における芸術文化振興の中心的な役割を果たしてきた。
- ・ 近代美術館は、その中核的施設として本道文化の創造・振興の拠点としての役割を担ってきた。

（課題と社会的役割の変容）

- ・ 現在の施設は、老朽化が著しく進行し、収蔵作品や展示什器の増加等に伴う狭あい化など様々な課題
- ・ デジタル化の進行や社会的包摂性の尊重、環境への配慮など美術館を取り巻く状況や役割が変化

（リニューアル基本構想）

- ・ R7年（2025年）3月に「北海道立近代美術館リニューアル基本構想」を策定
- ・ 目指す姿のほか、現在の建物を活用し、諸室の転用や増築等のリノベーションを行う方針を整理

（知事公館・近代美術館エリア活用構想）

- ・ R7年（2025年）3月に「知事公館・近代美術館エリア活用構想」を策定
- ・ エリア全体の目指す姿として「芸術や本道の歴史・文化を身近に体感出来る空間」など三つの観点を整理

（リニューアル基本計画）

- ・ 有識者や道民の皆様に御意見を頂きながら様々な検討を重ね、整備内容、美術館活動、運営方法等を整理した「北海道立近代美術館リニューアル基本計画」を取りまとめた。

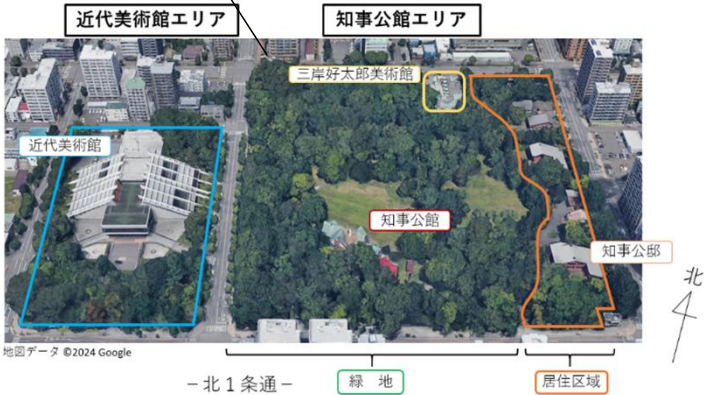
◇リニューアル基本計画：第2章 リニューアルの背景（イメージ）

1 近代美術館の概要

項 目	概 要
(1) 立地及び 周辺環境	- 札幌駅や北海道庁から直線距離約2kmほどの札幌市内中心部に位置 - 道庁や大通公園、北大植物園などとともに、札幌の都心に残る貴重な緑ある環境として親しまれている「知事公館・近代美術館エリア」における拠点施設の一つ
(2) 建築概要	所在地：札幌市中央区北1条西17丁目 設 計：太田実＋北海道立美術館設計共同企業体 面 積：敷地19,152.95㎡、建4,306.19㎡、延9,160.11㎡ 構 造：軸部鉄筋コンクリート造、 屋根アスファルト露出防水 地上3階・地下1階 意匠性：建築業協会賞（1978年）
(3) 収蔵作品数	6,082点（R7年(2025年) 3月31日現在）
(4) 管理運営	道直営
(5) 組織	館長、副館長、学芸副館長、総務企画部 定数9名(非11名)、学芸部 定数15名(非1名) ※分館として、「北海道立三岸好太郎美術館」あり



地図データ ©2025 Google



地図データ ©2024 Google

※参照：「これからの北海道立近代美術館検討会議」（R7.7.15:第16回）資料

◇美術館活動 <主な取組>

項 目	取 組 概 要
(1)収 集	・ 調査研究と収集方針に基づき、収集計画を策定 ・ 美術史的な視点に基づき系統的・計画的に作品を収集し、優れたコレクションを形成 ・ 収集方法は、美術品取得基金による購入や受贈 ・ 「北海道美術品購入サポーター制度」（R6年度開始）により、美術品購入を支援していただくための寄附を募集
(2)保 管	・ 道民の財産である貴重なコレクションを適切な環境で保管し、次代に引き継ぐ ・ 館内の環境維持のためIPM（総合的有害生物管理）の手法を導入 ・ コレクションデータベースを公開し、収蔵作品に関する基本情報を公開 ・ 保存と活用のため、作品の状態の把握に努め、計画的に修復を推進 ・ 二次資料の保管とアーカイブ構築の調査研究
(3)調査研究	・ 美学、美術史学、博物館学、コレクションなどについて調査研究 ・ 調査研究の成果を展覧会や紀要を通じて発信 ・ コレクションから1点を深く掘り下げ、調査研究の成果を発信する展示「この1点を見てほしい。」を実施 ・ ユニバーサルな展示手法について研究・実践
(4)展 示	・ 常設展において、テーマを設けてコレクションを紹介し年間を通じて近現代のガラス工芸を展示 ・ 「アートギャラリー北海道」事業の一環として、道内にある美術館のコレクションを紹介 ・ 特別展において、新しい動向にも目を配りながら様々なテーマにより、国内外の優れた美術作品を紹介 ・ 「北海道リモートミュージアム」により展覧会の見どころをオンラインで動画配信 ・ スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を活用し、館内や、前庭、知事公館庭園内に常設している彫刻を音声ガイドにより紹介
(5)教育普及	・ 展覧会に関連した講演や講座を実施 ・ 児童生徒の自主研修や職場体験など要望に応じた教育プログラムの提供や鑑賞学習支援ツールの貸出し ・ 道内の小・中・高等学校及び特別支援学校を対象に学芸員が鑑賞の手ほどきや美術館活動の紹介を行う「オンラインアート教室」を実施 ・ 学芸員資格取得を希望する大学生のため博物館実習や学芸業務に携わるインターンシップ制の受入を実施 ・ 美術館ウェブサイトやSNSを通じて展覧会や関連事業の情報を発信
(6)そ の 他	・ 道内外の美術館等からの要望に応じ作品の貸出しを実施 ・ 道内の多様な美術館等と相互に連携し、本道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道」を推進 ・ 北海道の中核的美術館として、全国美術館会議や北海道博物館協会、北海道美術館学芸員研究協議会等と協力して、道内外の美術館、博物館とのネットワークを強化 ・ アイヌ民族文化財団や札幌国際芸術祭実行委員会と協働し展覧会を実施 ・ 500m美術館専門委員会や道銀文化財団などの外部団体に協力し、地域作家の顕彰や地域美術の活性化に寄与

2 近代美術館の課題

項 目	課 題
(1)施設の老朽化等	・ 外壁や屋上、内装など建物内外の著しい老朽化、劣化 ・ 電気、給排水、空調、エレベータ等の設備の老朽化、劣化 ● ・ 景観や安全管理の観点から外構・前庭の植栽等の在り方検討 ・ 来館者動線やゾーニングなど設計上の問題
(2)作品の収集・保管	・ 収蔵庫等の狭あい化 ● ・ 収蔵環境の適切な保全、保管状態の改善 ・ コレクションの充実や作品修復の推進 ・ 作品購入財源の確保
(3)調査研究	・ 調査研究をより深化させるための研究環境及び研究費の充実 ・ 自主企画展等、調査研究の成果を還元できる機会の充実 ・ 研究成果や作品・作家に関する情報などの、デジタル技術を活用したアーカイブ構築と公開・発信
(4)展覧会	・ 収蔵作品の活用機会の充実と移動美術館など鑑賞機会の確保 ・ 様々な立場の来館者がストレス無く作品鑑賞するための展示室のバリアフリー化 ・ 来館者の多様なニーズを踏まえた多彩な展覧会の実施とそのための展示空間の整備 ・ 照明や可動壁の改善、大型固定ケース増設の検討 ・ 免震システムを備えた什器や展示台の導入など作品を安定して管理できる環境の整備 ・ 展示用什器の保管場所の確保
(5)教育普及事業	・ ICTの活用や感性を育むプログラム、興味・関心を引くイベントなど、教育普及事業の再構築 ・ 講堂や映像室の映像・音響・照明設備や造形室の設備・備品の老朽化、劣化 ● ・ 来館者が自由に利用できるエリア、子供が集い学べる場所の不足 ・ 図書や映像を視聴するARSコーナーのスペース・資料の不足
(6)利用者との関係	・ ユニバーサル・デザイン化への対応 ・ ボランティアが活動する場所等の確保 ・ カフェやショップ、展示室内外で休憩できる場所など、くつろぎの場所としての機能の充実
(7)館運営	・ 自主企画特別展等の展覧会事業等の縮小傾向・財源確保 ・ 団体の受入れや、気軽に訪れるための駐車場の充実 ・ 目指す姿にふさわしい美術館の名称の検討 ・ 専門的に従事するスタッフの配置・育成 ・ 三岸好太郎美術館の求められる役割や機能等、在り方の検討 ・ 委託業者を含む美術館スタッフも快適に利用できる環境の整備 ・ 官民連携手法の導入や企業・団体との協働手法の検討



3 美術館の社会的役割の広がり

博物館法 (R4年4月改正、R5年(2023年)4月施行)

- ・社会教育法に加え、文化芸術基本法の精神にも基づくことが規定
- ・デジタル・アーカイブ化、人材養成や研修が事業に追加
- ・関係機関等との協力による文化観光等の推進、地域の活力向上に取り組むこと

文化芸術基本法 (H29年(2017年)6月改正・施行)

- ・観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等他関連分野との有機的な連携が求められる。

文化観光推進法 (R2年(2022年)4月施行)

- ・美術館等を核に地域における文化観光を推進する。

ICOMによる博物館の定義 (2022年)

- ・accessible(誰もが利用できる)、inclusive(包摂的)、diversity and sustainability(多様性と持続可能性)、ethically, professionally(倫理的かつ専門的に)、participation of communities(コミュニティの参加)、reflection(省察)、といったキーワードが追加

博物館の社会的な役割の多様化、高度化

◇リニューアル基本計画：第3章 リニューアルの基本方針（イメージ）

1 近代美術館が目指すこと（目指す姿）

- 目指す姿を踏まえ、ウィズ・キッズ展やアーティストとのコラボレーションなど新たな取組を開始
- リニューアル後は、目指す姿の実現に向けた様々な取組の展開やそれを支える環境の整備により、歴史を受け継ぎ、新しい時代とともに、本道の美術文化を拓く美術館に向けて歩んでいく。

ビジョン

私たちが目指すもの

北海道立近代美術館は、アートの普遍的価値の継承・発展と、発信に取り組むことにより、誰もがその豊かさを享受することで、多様な人々が互いを受け入れ、活かし合う、創造性と活力にあふれる社会の実現を目指します。

ミッション

私たちの使命、役割

- 北海道の美術文化の中核として、道民に信頼され、親しまれるとともに、誰もが楽しみ、学び、やすらぎを感じ、人生の豊かさを見いだすことができる場所となります。
- アートを介した新たな発見や感動体験により、人々の生涯を通じて創造力と豊かな感性を育み、刺激し続けます。
- 様々な人々や団体と協働し、地域のアートの活性化に貢献するとともに、多様性の尊重や持続可能性が求められるこれからの社会づくりに向け、美術館としての活動を積み重ねながら、道民とともに歩んでいきます。

コンセプト

私たちが取り組んでいくこと

ハーモニー

- ・多彩な展示
- ・ユニバーサルデザイン化
- ・環境への配慮
- ・文化と自然の調和

コレクション

- ・系統的な収集
- ・作品の幅広い活用
- ・デジタルデータ化
- ・適切な取扱い

リサーチ

- ・分野横断によるアートの価値の引出と幅広い活用
- ・資料のアーカイブ化

コラボレーション

- ・持続的な協働体制による多彩な展覧会
- ・楽しみと学びの機会の創出
- ・地域の美術文化と教育の活性化

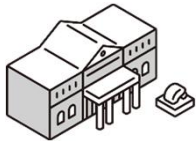
ウィズ・キッズ

- ・子どもが自ら楽しみ、大人の手を引き何度も訪れたくなる展示やイベントの企画実施

2 施設整備の基本方針

- 現在の近代美術館の建物を活用することとし、諸室の転用や有効活用、増築等のリノベーションを行い、単なる長寿命化や設備の更新にとどまらず、将来を見据えた新たな機能を備える。
- 目指す姿のほか、近代美術館の現状と課題を踏まえ、施設設備の基本方針を定める。

(1) 新たな時代に対応する十分な規模と機能の確保



- 目指す姿の実現や、美術館に求められている役割の多様化、高度化
⇒ 将来的な美術館活動の向上を見据えた十分な規模と機能

(2) 長期的、安定的な美術館機能の維持



- 道民の財産である作品を適切に保管し未来へ継承する責務、他館の貴重な作品の借用・展示する役割
⇒ 収蔵庫や展示室の環境を適切かつ安全に維持し続けること
⇒ リニューアル後も長く使い続けられるよう、日常的な点検やメンテナンス等が適切かつ円滑に行え、補修や更新が容易な施設設備

(3) 感性を刺激する魅力溢れる空間の整備



- 多くの人々が何度も訪れたくなるような魅力溢れる空間
⇒ 豊かな緑と調和したエントランス、景観デザインを踏まえた前庭整備、外部と内部の接続性の工夫
⇒ 統一されたデザインコンセプトの設定
⇒ 美術作品を鑑賞した余韻を楽しめるカフェやショップの充実
⇒ 子供たちが自らアートを楽しむことのできる場の創出 など

(4) バリアフリー化、ユニバーサル・デザイン化の推進



- 社会的包摂性の尊重、文化観光の推進、誰もが利用しやすい施設
⇒ トイレの充実、身体の不自由な方の動線への配慮、分かりやすい案内表示、身障者用駐車スペース等の確保 など

(5) 多様な人々がつながり、協働を促進する環境の整備



- 多彩な展覧会や楽しみと学びの機会の創出
⇒ 様々な人々や団体との協働を促進し、多様な活動が展開できる施設設備へ

(6) 多様な活動の根幹を支える収集・保存・調査研究環境の充実



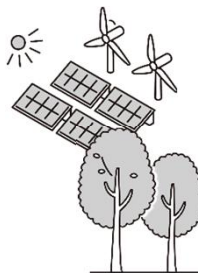
- 美術館活動の原点であり、文化と教育の資源であるコレクションの適切な保存や計画的な修復
⇒ 適切な作品動線のほか、十分な収蔵スペースを備えた収蔵庫や修復室等
- 展覧会や教育普及など美術館活動に幅広く生かされる調査研究活動を推進
⇒ 学芸員による活動環境やレファレンス機能等の充実

(7) 現在の建物の意匠性への配慮



- 雪深い北海道を象徴する印象的な外観など、道民の皆様に親しまれ、建物に刻まれた過去の記憶やその価値を後世に伝える
⇒ 必要な機能の整備を大切にしながら、建物の意匠性にも出来る限り配慮

(8) 緑との調和と環境への配慮



- ネイチャーポジティブの考え方やゼロカーボン北海道の取組、ランニングコストの低減等の観点
⇒ 樹木の伐採を最小限に抑え、やむを得ず伐採した場合には、十分な回復措置
⇒ 創エネ・省エネ技術の積極的な活用によるZEB化
- SDGsの達成やゼロカーボン社会の実現、林業・木材産業の成長産業化推進等の観点
⇒ 地域材の利用による内装や什器類等の木質化

北海道立三岸好太郎美術館



1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

展覧会の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
休館日	1～4,8,15, 19～26,30	7,13,20,27	3,10,17,24	1,5～12,16, 22,29	5,13,19,26	2,9,17,24, 26～30	1～4,7,15, 21,28	11,18,25	2,4～13,16, 23,29～31	1～3,6,14, 20,27	3,10,17, 25～28	3,10,17,24, 28～31
展覧会	所蔵品展 第1期 (12日間) 4月5日(金)～ 18日(木) 恋する画家の 陶酔ざんまい ※R5年度より継続	所蔵品展 第2期(59日間) 4月27日(土)～7月4日(木) モダニストの「蝶」 詩人・安西冬衛と好太郎 蝶をモチーフとする清新な短詩で、モダニズム詩の旗手となった安西冬衛(1898-65)。「蝶と貝殻」の連作で白日夢的イメージの世界を切り開いた三岸好太郎。「蝶」をキーワードに、詩人と画家の感性の響きあいをご覧ください。 ■同時開催 好太郎が描く男たち		所蔵品展 第3期(64日間) 7月13日(土)～9月25日(水) ダブル・ファンタジー ふたつのものがであうとき 「ダブル」という言葉をキーワードに、モチーフ、構図、色彩といった造形要素に注目しながら、ふたつのものを組み合わせることのできる、好太郎の絵画世界の魅力をひもときます。 ■同時開催 好太郎とマリオネット		特別展(52日間) 10月5日(土)～12月3日(火) わがこころの街 ー好太郎と画家たちの札幌 好太郎がふるさと・札幌で描いた詩情あふれる風景画を中心に、同時代の画家が描いた古き良き時代の札幌風景を紹介します。大正から昭和にかけての、ノスタルジックな札幌のイメージをご堪能ください。		所蔵品展 第4期(年度内81日間+次年度13日間) 12月14日(土)～4月18日(金) 「匂ふやうな灰色」 ー好太郎・乳白色の世界へ 好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼びました。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付けます。 ■併催 AGH事業 12月14日(土)～2月24日(月振)(58日間) mima-no-me#みまのめ(VOL.10) 北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画10回目。				
	連携展示	3～6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6～9月 ミギシ・サテライト		9～12月 ミギシ・サテライト		12～3月 ミギシ・サテライト				
	普及事業・関連事業	6月8日(土) 詩の朗読会 6月29日(土) 「日本の詩を歌う」		7月下旬～8月中旬 「たんけん美術館」 8月10日(土) 人形劇(大谷短大)		10月19日(土) 街歩きツアー		11月3日(祝・日) 講演会		12月中旬～2月下旬「たんけん美術館」 12月21日(土)「マール記念日」読み聞かせコンサート 12～2月 AGH事業 「#みまのめ」アーティスト・トーク		
	(音楽事業)	5月18日(土) ミニ・リサイタル(教育大)		7月19日(金) ミニ・リサイタル(過年度公募者)		10月12日(土) ミニ・リサイタル(大谷大)		11月2日(土) ミニ・リサイタル(過年度公募者)				
*図書コーナー／通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。 □アニヴァーサリー／7月2日は開館記念日(観覧無料+イベント) * 4月18日は三岸好太郎誕生日(節子命日) ■カルチャーナイト／7月19日(金) ■芸術週間／11月1日(金)～7日(木)												

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

展覧会の実施状況

(1) 所蔵品展

展覧会名		内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
第1期	恋する画家の陶酔さんまい ※R5年度より継続	多くの女性への陶酔を始め、触れあったさまざまなものに魅せられ、惚れ込み、恋するほどの情熱を燃やして生まれた秀作の数々をたどる。	4/5[金]～4/18[木]	12日	422人	35人
第2期	モダニストの「蝶」 詩人・安西冬衛と好太郎 ■同時開催 好太郎が描く男たち	蝶をモチーフとする清新な短詩で、モダニズム詩の旗手となった安西冬衛(1898-65)。「蝶と貝殻」の連作で白日夢のイメージの世界を切り開いた三岸好太郎。「蝶」をキーワードに、詩人と画家の感性の響きあいを紹介する。 ■多彩な女性像で知られる三岸好太郎が描く奥深い味わいの男性像を紹介する。	4/27[土]～7/4[木]	59日	2,789人	47人
第3期	ダブル・ファンタジー ふたつのものがであうとき ■同時開催 好太郎とマリオネット	「ダブル」という言葉をキーワードに、モチーフ、構図、色彩といった造形要素に注目しながら、ふたつのものを組み合わせることのできる、好太郎の絵画世界の魅力をひもとく。 ■手のひらに収まるような小さな操り人形をモチーフに、奇怪なイメージが生み出された《マリオネット》。好太郎と人形劇のかかわりやその周辺の人間群像などの背景も紹介する。	7/13[土]～9/25[水]	64日	3,536人	55人
第4期	「匂ふやうな灰色」 ー好太郎・乳白色の世界へ ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ〈VOL. 10〉	好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼んだ。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付ける。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画10回目。10代から30代の作家4名(清水芹春、秋元さなえ、川村正寿、佐藤寧音)の作品展示とアーティスト・トーク。	12/14[土]～2025.3/27[木] (翌年度に継続～4/18[金]) (#みまのめ〈VOL. 10〉は～2025.2/24[月振])	81日	2,517人	31人
計				216日	9,264人	42人

R5	R4
47人	33人

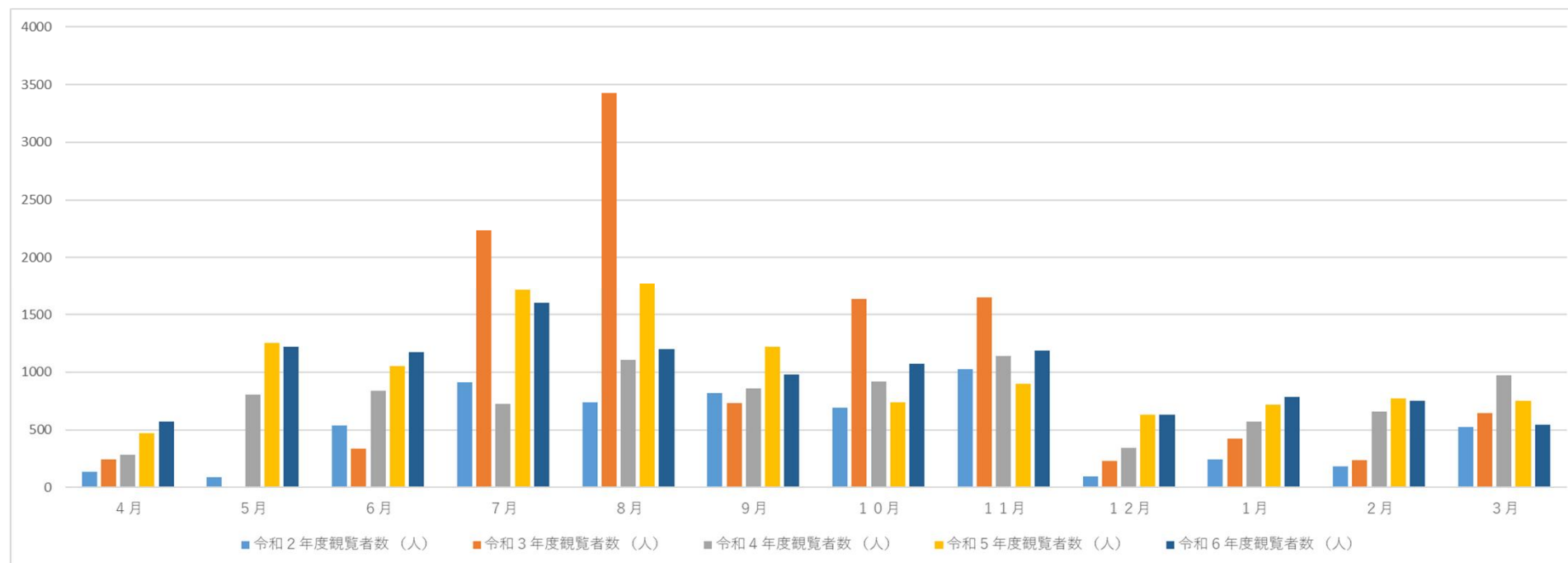
(2) 特別展

展覧会名		内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
わがこころの街 ー好太郎と画家たちの札幌		好太郎がふるさと・札幌で描いた詩情あふれる風景画を中心に、同時代の画家が描いた、大正から昭和にかけてのノスタルジックな札幌のイメージを堪能できる、古き良き時代の札幌風景を紹介する。	10/5[土]～12/3[火]	52日	2,464人	47人
計				52日	2,464人	47人

R5	R4
36人	41人

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

観覧者数の推移



項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度観覧者数	(人)	135	88	536	915	739	818	695	1,025	98	247	185	522	6,003
令和3年度観覧者数	(人)	247	0	340	2,233	3,427	732	1,637	1,647	233	424	237	643	11,800
令和4年度観覧者数	(人)	282	805	840	725	1,109	861	917	1,139	342	569	660	972	9,221
令和5年度観覧者数	(人)	470	1,256	1,054	1,712	1,772	1,221	739	896	634	719	774	754	12,001
令和6年度観覧者数	(人)	572	1,220	1,176	1,601	1,201	977	1,071	1,189	632	788	754	547	11,728

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

美術館評価

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と適切な保管

評価 B

優れたコレクションの形成

- ・三岸家遺族ならびに北海道内外の個人計4名から、三岸好太郎作品14点ならびに関連作家資料15点を受贈により収集し、コレクションの充実を図ることができた。

所蔵作品の適切な保管

- ・版画2点並びに水彩・素描1点、計3点について、UVカット低反射アクリル+中性紙ボードで額装し、作品保護の対策を取った。
- ・展示室、収蔵庫等について、委託業者と連携を図り適切な保管環境の維持に努めた。
- ・虫害対策としてトラップを設置し、発生状況をモニタリングした。

コレクションの効果的な活用

- ・堺市中央図書館が所蔵する安西冬衛寄贈資料を調査し、所蔵品展「モダニストの『蝶』 詩人・安西冬衛と好太郎」展で紹介した。
- ・所蔵品展「ダブル・ファンタジー」展及び所蔵品展「『匂ふやうな灰色』」展では、それぞれキーワードを前面に打ち出し、コレクションの新鮮な角度からの鑑賞について工夫した。
- ・特別展「わがこころの街 好太郎と画家たちの札幌」展では、同時代の画家が描いた札幌風景を展示し、古き良き時代の札幌の雰囲気を感じていただいた。

【成果】 これまでにない大量の寄贈によりコレクションの充実を図ることができたとともに、関係者と連携を図りながら適切な保管環境の維持に努めることができた。

【課題】 収蔵作品の増加により、さらなる作品修復・保護の措置が必要。

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

美術館評価

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価 B

多様なニーズに応える展覧会の開催

所蔵品展として「モダニストの『蝶』 詩人安西冬衛と好太郎」、「ダブル・ファンタジー ふたつのものがあうとき」、「『匂ふやうな灰色』－好太郎・乳白色の世界へ」、特別展として「わがこころの街－好太郎と画家たちの札幌」、AGH事業として「#みまのめVOL.10」を開催し、それぞれが工夫を凝らした多彩な展覧会として、来館者の高い評価を得た。

観覧者拡充のための工夫

所蔵品展「モダニストの『蝶』 詩人安西冬衛と好太郎」では、文字を展示の要素として活かした展示手法を採用した。特別展「わがこころの街－好太郎と画家たちの札幌」では、北一条教会、北光教会、北海道医師会などから作品を拝借し、展覧会の内容の充実を図った。

「みまのめ」展では、作者が所蔵する近作や新作を展示することにより、北海道の若手作家のフレッシュな表現を紹介し、特に高大生層の観覧者増を図った。

館外における鑑賞機会の提供

ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)において4点の作品を順次展示、国立アイヌ博物館「ミナ ミナ『おばけのマールとすてきなことば』」展において《赤い肩かけの婦人像》を展示。

【成果】 来館者から引き続き高い評価を得られたとともに、来館者数もほぼ前年に近い数値となった。

【課題】 児童生徒の観覧の増加に向けた取組と周知が必要。

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

美術館評価

【基本的運営方針】 C 学習の場と情報提供の充実

評価 B

教育普及事業の充実

- ・学芸員によるギャラリー・トーク、ボランティア解説員による展示解説、#みまのめVOL.10 出品作家によるアーティスト・トーク、詩の朗読会、美術講演会等の実施。
- ・夏休み・冬休み時期中子ども向けプログラム「たんけん美術館」や折り紙建築のセルフワークショップの実施。
- ・開館記念日、道みんの日、カルチャーナイトなど無料開放の機会にあわせた多彩なプログラムの実施。
- ・4年ぶりのミニ・リサイタル、ミュージアムコンサート、マール記念日読み聞かせ付きコンサートなどの音楽イベント等の実施。
- ・展覧会関連事業として好太郎ゆかりの場所を巡る「街歩きツアー」を初開催。

情報提供の充実

- ・図書コーナーにおける画集、書籍等の配架のほか、三岸アトリエやミギシサテライトなどの情報提供。
- ・ホームページやSNSを活用した高頻度での情報発信。Xの他、新たにInstagramを開設。
- ・ホームページ及び文化遺産オンライン等で主要作品の解説を含んだ作品情報を提供。
- ・「モダニストの『蝶』 詩人・安西冬衛と好太郎」でリモートミュージアムを制作。

【成果】 教育普及事業においては数値目標を大幅に上回った。また、SNSによる積極的な情報発信により閲覧者、フォロワー数が増加。

【課題】 HPの内容の充実及び図書・資料コーナーの利用促進に向けた取組が必要。

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

美術館評価

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価 B

調査・研究の充実度

- ・ 特別展「わがこころの街 好太郎と画家たちの札幌」企画のため、札幌市内の教会等が所蔵する戦前の札幌の風景画や好太郎の風景画を調査・借用し、同展の内容の充実を図った。
- ・ 三岸好太郎の作品ではないかという情報提供（3件）に対し聞き取りを行い、作品情報の充実に資した。
- ・ 東京文化財研究所のデータベースをテーマとする研究会に発表者として参加し、今後の三岸好太郎のアーカイブ機能の強化について、有益な知見を得た。
- ・ 1985年（昭和60年）から40年ぶりに版を改めて三岸好太郎美術館後援会から『三岸好太郎名品集』を刊行するにあたり、学芸員が内容の監修ならびに編集に携わり、約80点の掲載作品全てに作品解説を付し、調査研究の成果を広く共有することができた。

【成果】 資料調査等による研究成果を展覧会に反映させ、展示内容や作品情報の充実を図ることができた。また、40年ぶりの名品集刊行にあたり、学芸員が監修ならびに編集に携わることにより、調査研究の成果を広く共有できた。

【課題】 学芸員の研修は自己研鑽に依るところが大きい状況のため、引き続き調査・研究、研修の機会の確保及び充実を図ることが必要。

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

美術館評価

【基本的運営方針】 E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上 評価 A

多様な機関との連携・協力

- ・北海道美術館協力会との連携・協力（ボランティア解説員による展示解説、北海道美術館協力会主催講座への施設提供、研修会への講師派遣。）
- ・北菓楼札幌本館及び三岸好太郎美術館後援会と連携したスイーツ交換券の配布により、美術館と北菓楼札幌本館との人の流れを創出。
- ・＃みまのめVOL.10開催による北海道ゆかりの若手作家の表現活動の紹介及び出品作家によるアーティスト・トークの実施。
- ・「街歩きツアー」開催にあたり、知事公館をはじめ関係施設との連携の機会を創出。

学校等の教育機関との連携・支援

- ・千歳高等支援学校を対象に「オンラインアート教室」を実施。
- ・近代美術館博物館実習のプログラムにおいて実習生を受け入れ。
- ・近代美術館指導者研修のプログラムにおいて研修生を受け入れ。
- ・札幌市立大通高等学校、札幌市立北九条小学校3年生を対象に出前授業を実施。
- ・近隣の幼、小、中、高校や高文連主催のイベント会場等を直接訪問し、また連携実績のある高校へ電話等により、学校教育で活用できるプログラムの活用案内を行った。

【成果】 関係機関との連携・協力を強化し、サービス向上を図ることができたほか、出前授業やオンラインアート教室により、子どもたちの鑑賞機会の提供に寄与できた。

【課題】 授業計画の関係から、団体観覧以外の教育プログラム活用がなかなか進まない。

1 令和6年度事業実施報告および美術館評価（三岸好太郎美術館）

美術館評価

【基本的運営方針】 F 安全で快適な滞在環境の提供

評価 B

施設の適切な維持管理

- ・ 定期検査、巡回等で施設設備の機能や安全性を点検・確認し、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対し、関係部署と連携し速やかに対応を行った。
- ・ R6は、展示室壁面に水染みができたが、館職員、設備運転保守管理業者や工事業者と連携を図り、適切に対応した。

施設の快適性の向上

- ・ 受付・監視等委託業者による丁寧な接客対応を実施した。
- ・ 館職員、警備、受付・監視、設備運転管理保の各委託業者、カフェ・売店事業者がそれぞれ連携を図り、良好な滞在空間の維持・提供に努めた。

【成果】鑑賞環境やショップ、スタッフの接客等について、引き続き来館者から高い満足度を得ることができた。

【課題】施設の老朽化による突発的な不具合や、展示室の壁等の劣化への対応が必要。

2 令和7年度運営計画（三岸好太郎美術館）

資料3-2

令和7年度事業計画

	2025					2026						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
休館日	1~3,7,14, 19~24,28	7,12,19,26	2,9,16,19~27, 30	7,14,22,28	4,12,18,25, 29~31	1~5,8,16,22, 29	6,14,20,27	10,17,25~30	1~5,8,15,22, 29~31	1~3,5,13,19, 26	2,9,16,24~27	2,9,16,23, 27~31
展覧会	所蔵品展 第1期 (13日間) 4月4日(金)~ 18日(金) 「匂ふやうな灰色」 ー好太郎・乳白色の 世界へ ※R6年度より継続 所蔵品展 第2期 (47日間) 4月25日(金)~6月18日(水) アーモンドの瞳の女 ー美神たちのまなざし 1~5室 同時開催： 好太郎のデザイン・ワーク 6~7室 所蔵品展 第3期 (53日間) 6月28日(土)~8月28日(木) 所蔵品展プレミアム 三岸節子生誕120年 永遠のオ マージュ 好太郎と節子 1~7室 特別展 第3期 (70日間) 9月6日(土)~11月24日(月振) 線が、息づく。 好太郎の線、鈴木ヒラクのドローイング 1~7室 * 芸術週間中の観覧料 ~団体観覧料 所蔵品展 第4期 (年度内87日間+次年度15日間) 12月6日(土)~4月19日 (日) * 一部展示替2/24~2/27 * 年度末休館3/27~3/31 ふたりの「悪童」ー美術史家・外山卯三郎と好太郎 Ⅰ期：1~3室 Ⅱ期：1~7室 ■同時開催：AGH事業 12月6日(土)~2月23日(月振) #みまのめ〈VOL. 11〉(64日間) 4~7室											
連携展示	3~6月 北葉楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト 6~9月 ミギシ・サテライト 9~12月 ミギシ・サテライト 12~3月 ミギシ・サテライト 3月 ~											
普及事業	7月~8月 「たんけん美術館」 9月 鈴木ヒラク氏 ワークショップ& トーク・セッション(9/5,6) 街歩き ツアー (9/27) 「好太郎の 札幌を歩く ー北大界隈」 芸術週間 (11/1~7) 12月~2月 「たんけん美術館」 AGH事業「#みまのめ」 ・アーティスト・トーク マール記念日 (12/20) 7月 1日 開館記 念日 7月 17日 道みん の日 7月 25日 カル チャーナ イト アート・ トーク 三岸太郎さ ん、三岸龍 生さん (6/28) 7月25日 ミニ・リサイタル (公募決定済み) 1部30分 8月9日 ミニ・リサイ タル(教育 大) 2部1時間 10月11日 ミニ・リサ イタル(大 谷大) 2部1時間 11月1日 芸術週間 ミニ・リサイ タル(公募 決定済み) 1部30分 12月20日 マール記念日 コンサート 30分 ・ボランティア展示解説 (平日13-15時) ・学芸員による ギャラリー・トーク (月1回程度)											
音楽イベント (音楽のある美術 館)	7月25日 ミニ・リサイタル (公募決定済み) 1部30分 8月9日 ミニ・リサイ タル(教育 大) 2部1時間 10月11日 ミニ・リサ イタル(大 谷大) 2部1時間 11月1日 芸術週間 ミニ・リサイ タル(公募 決定済み) 1部30分 12月20日 マール記念日 コンサート 30分											
	* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。											
	* 所蔵品展示解説/火~土 午後1~3時(祝日および休館日を除く) 解説：北海道美術館協力会ボランティア											
	* 学芸員によるギャラリー・トーク/映像機器等利用のミニ講話(展示室内 月1回程度[日曜など]) 講話：当館学芸員											
	□アニヴァーサリー/7月1日は開館記念日(観覧無料) 4月18日は三岸誕生日 ■カルチャーナイト/7月25日(金) ■芸術週間/11月1日(土)~7日(金)											

2 令和7年度運営計画（三岸好太郎美術館）

令和7年度展覧会事業

(1) 所蔵品展						
展覧会名		内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
第1期	「匂ふやうな灰色」 ー好太郎・乳白色の世界へ ※R6年度より継続	好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼んだ。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付ける。	4/4[金]～4/18[金]	13日	482人	37人
第2期	アーモンドの瞳の女 美神(ミューズ)たちのまなざし ■同時開催 好太郎のデザイン・ワーク	好太郎の描くアーモンド形の瞳を持つ女性像、そのまなざしの表現に注目しながら、好太郎の女性像の神秘的な魅力に迫る。 ■挿画・想定などのグラフィックな仕事やアトリエ建築デザインなど、好太郎のデザインの仕事を紹介する。	4/25[金]～6/18[水]	47日	1,868人	40人
第3期	三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ 好太郎と節子	三岸節子生誕120年の節目にあわせ、三岸好太郎の画業を振り返るとともに、好太郎没後の顕彰へ献身した画家・節子の芸術の一端、さらに令和6年度に寄贈された節子の作品などをまじえて、互いに捧げあった愛と尊敬のありようを紹介する。	6/28[土]～8/28[木]	53日		
第4期	ふたりの「悪童」 ー美術史家・外山卯三郎と好太郎 ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ(VOL. 11)	好太郎のモダニズムへの接近に、美術史家・外山卯三郎が果たした役割を、ふたりの交流の軌跡からさぐる。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画11回目。若手作家4名の作品展示とアーティスト・トーク。	12/6[土]～2026.3/26[木] (翌年度に継続～4/19[日]) (#みまのめ(VOL. 11)は～2026.2/23[月振])	87日		
計				200日	2,350人	
(2) 特別展						
展覧会名		内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
線が、息づく。 好太郎の線、鈴木ヒラクのドローイング		多様な「線」の表現を追求した好太郎と、即興生の高いドローイングからまだ見ぬ「線」をうかびあがらせる現代アーティストの鈴木ヒラク、鈴木ヒラクに重要なインスピレーションを与える先史時代の洞窟壁画、この時代も地域も異なる三者の芸術を接続するものとして、「線」という表現に焦点を当てる。	9/6[土]～11/24[月振]	70日		
計				70日	0人	

2 令和7年度運営計画（三岸好太郎美術館）

令和7年度 三岸好太郎美術館事業予算状況

歳入予算				歳出予算				
区分	令和6年度	令和7年度	摘要	区分	令和6年度	令和7年度	摘要	(千円)
観覧料（常設展・特別展）	2,511	2,491		展覧会	常設展	2,947	4,456	AGH含む
その他	111	0			特別展	1,817	3,181	
一般財源	3,785	6,768		教育普及		423	422	親子ふれあい含む
				調査研究		54	50	
				維持運営費		1,166	1,150	
計	6,407	9,259		計		6,407	9,259	